



DBK だより

発展途上国援助・ドンボスコ基金

2011 年 7 月 1 日 第 7 号

発行人:チブリアニ・アルド

友人、恩人の皆様

このたび、日本を襲った大震災で犠牲になられた方々とご遺族の皆様深くお悔やみを申し上げ、神様のなぐさめと助け、平安を願うとともに、被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

世界各地のサレジオ家族が奉仕する若者、子どもたち、家庭のために、いつも祈りと経済的支援をありがとうございます。

日本に住む私たちは、いまだに三月十一日の出来事の中にいます。この大きな災害と今も続く余震と原発事故は、私たちの心を揺さぶり、深い傷跡を残しています。皆様の中には、親しい方を失った方もおられるかもしれません。

精神的な意味でも足元の土台が崩れ去り、不安を感じている人は少なくありません。一瞬にして多くの人のいのちと生活の

糧が奪われました。人間の愚かな過ちの結果、放射能によって、多くの人が暮らしてきた大地と海が失われました。私たちが初めて体験する災いが降りかかったとき、自分の心を深く探らずにいられません。私にとって何が大切なのか、神様、あなたのみ旨はどこにあるのですかという問いが心の中で響きます。

私たちが驚くような出来事が起こりました。祈りと共感、多くの支援の手が世界中から寄せられたのです。豊かな国だけでなく、貧しい国々も日本のために祈り、助けてくれました。被災地では今も多くの人が苦しみと不安の中におられ、復興再建も大きな困難が予想されますが、世界中の人々の愛は私たちを支え、前進させてくれています。このことが証しているように、どんなときも、私たちは支え合って生きるように呼ばれています。それが神様のみ旨なのではないでしょうか。苦しみ、痛み、不

安のために心を閉ざすことなく、他者（神と人）に心を開いて生きる、このことは、どのような津波も原発事故も奪うことのできない、私たちの生きる道です。今年も、皆様の祈りと援助によって、三ページに記載されている報告のとおり、世界各地の教育・医療・生活改善の活動に支援を送ることができました。皆様の援助はまた、貧しい人々、青少年のために一生を捧げる将来のサレジオ会神学生養成のためにも役立たせていただいています。

今日状況の中、皆様の祈りと支援は、時にさまざまな犠牲の伴うものと存じますが、皆様の惜しみない心に神様が豊かな喜びと恵みをもって報いてくださいますよう、感謝のうちに心よりお祈りしています。

二〇一一年六月二十四日

管区長

チブリアニ・アルド神父

神学生養成支援のために



二〇〇九年度
から二〇一〇年
度にかけ、皆様
から頂いたご寄
付のうち、アフ
リカ（西アフリ

カ準管区）とアジア（東チモール、
パプアニューギニア）の神学生養
成のため約四百万円を送金させ
ていただきました。西アフリカ準
管区の養成支援は、管区長のクリ
サフツリ神父様からの要請に応
えるものでした。海外留学中の神
学生の分も含めて、必要経費の五
分の二しか集まらず、残り三千万
円以上が不足しているとのこと
でした。そのためクリサフツリ神
父様たちは、ドン・ボスコのよう
に叩ける扉はすべてノックして
いるのです。

神学生たちは、自分のすべてを
貧しい青少年のために神様に捧
げようと志し、学んでいる若者た
ちです。青少年育成支援を目指す
DBKの援助は有効に活かされ、

大きく広がるでしょう。支援に対
し、ガーナから感謝の手紙が届い
ています。

ガーナからの手紙

2011年1月20日

管区長様、

ここ英語圏西アフリカ準管区
の神学生たちを養成するための
多大な経費の支援として、DBK
から寛大な二万ユーロ（二一四万
円）の寄付を頂き、管区に代わっ
て心から感謝を申し上げます。

私たちのいる所は、サレジオ会
の視点から見ても多くの若者た
ちのいる大変恵まれた場所です。
私たちの働くナイジェリア、ガー
ナ、シエラレ
オーネ、リベ
リアの四カ国
ほど、多くの
若者のいる所
はほかにない
のではないで
しょうか。



昨年の国連のデータによると、
この四カ国の十九歳未満の青少
年の数は一億人以上に及び、全人
口の半数以上を占めています。

多くの若者がドン・ボスコの後
に従い、仲間の若者たちのために
生涯を捧げたいと望んでいます。
しかしご存じのように、修練期か
ら司祭になるまで十二年かかり、
彼らの勉学の資金を見つづけるの
に苦慮しています。若者たちが気
高い夢をあきらめねばならない
ようなことは避けたいのです。彼
らは、二十一世紀の「アフリカ産
」サレジオ会員になるでしょう。

準管区の平均年齢は三十歳で
す。一四〇名の会員（修練生を含
む）のうち、一〇〇名以上がまだ
養成過程にあります。皆さんの
寛大な援助がどれほどありがた
かったか、お察しいただけるで
しょう。

私たちは必要に応じるために、
自活を試みています。生活を少し
でもまかなうため、神学生たちに
よる小規模の農業、七つの小さな
職業訓練所は、私たちの養成支部



にもあります。それでもやはり、
恩人の皆さんに頼らねばなりま
せん。

どうぞDBKの支援者の皆さ
んにお伝えください。私たちは毎
日の祈りのうちに皆さんのこと
を思い出し、日本にとってのこの
大きな悲しみの時に、皆さんと一
致しています。

神様の祝福がありますよう
に!!

副管区長

シルヴィオ・ロツジャ神父

発展途上国援助・ドンボスコ基金

2010年度決算書

(2010年4月1日～2011年3月31日)

(単位:円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	項 目	金 額
前年度繰越金	4,353,431	寄付金支出	22,759,290
寄付金収入	20,199,924	#内訳	
#内訳(意向先別)		チリ地震 (カリタスジャパン経由)	103,140
1任意(DBKに委託)	10,652,759	ボリビア(\$54,811)	4,500,000
2ボリビア	4,253,718	ペルーCSG	500,000
3ハイチ地震	4,808,077	ペルー(大城神父、\$2万)	1,842,050
4スーダン	125,610	ペルー国際語学センター	2,000,000
5ペルー	20,540	アルゼンチン(\$3万+現金25万円)	3,000,000
6ソロモン	38,220	アルゼンチンCSG(\$2万)	1,831,100
7チリ地震	51,000	ハイチ地震のため(ローマ、\$5万)	4,105,000
8アルゼンチン	250,000	ガーナ(就学支援、EUR2万)	2,144,800
		パプアニューギニア(就学支援、\$1万)	918,200
		フィリピン(FMA、\$1,000)	81,500
		スリランカ(クレメンテ神父、\$1万)	815,000
		パキスタン(水害のため、\$1万)	918,500
		CSG: イエスのカリタス修道女会	
		FMA: サレジオン・シスターズ	
受取利息収入	349	事務経費	179,830
		#内訳	
		送金手数料	91,830
		通信費	88,000
		合 計	22,939,120
		次年度繰越金	1,614,584
		#内訳	
		振替口座	23,837
		ゆうちょ銀行	1,590,747
		現金	0
収入の部合計	24,553,704	支出の部合計	24,553,704

注記) 1. ハイチ地震	収入	4,808,077	2. スーダン	収入	125,610
	支出	4,105,000		支出	0
		703,077			125,610
3. ソロモン	収入	38,220			
	支出	0			
		38,220			

上記、1～3の未送金分については2011年度に送金いたします。

2011年6月1日

発展途上国援助・ドンボスコ基金
代表者 チブリアニ・アルド

監査報告書

発展途上国援助・ドンボスコ基金の2010年度会計は
収入・支出とも公正かつ適切に行われたものと認めます。

2011年6月14日

発展途上国援助・ドンボスコ基金

監事 渡辺 新

監事 リチャード・スミス

ドン・ボスコ基金とは

「ドン・ボスコ基金」は、日本のサレジオ会の教会や学校、協力者の間にあったさまざまな海外支援活動を統合して2007年11月に立ち上げられた基金です。世界の貧しい地域で働くサレジオ家族の活動を支援することを目的とします。世界各地の現場から寄せられる声に応え、“若者の父、師”であるドン・ボスコの心に従って教育活動を重視し、貧しい人々や青少年が、未来に希望を抱くことのできる世界の建設を願っています。

地には善意の人に 平和あれ

ここ数年、世界各地で地震や津波が起こり、大きな被害が出ています。阪神大震災、中国、インドネシア、ハイチやチリでの地震など。そのたびに、世界中の多くの善意の人々が支援の手を差しのべました。今年三月十一日の東北大震災に際しても、世界中の多くの人が心を痛め、テレビ、新聞、雑誌を見て、支援の手を差しのべています。本当にすばらしいことだと思えます。神さまがきっと、これらの善意の人の上に豊かなお恵みと祝福をもって、お報いくださることでしょう。聖パウロの「イエスご自身が『受けるよりは与える方が幸いである』といった言葉を思い出すように」（使徒言行録）の聖句が、あらためて心に浮かんできます。

さて、ここで私は DBK のお一人お一人に心からのお礼を申



し上げたいのです。それは皆様が貧しいボリビアの小さき兄弟に愛の手を差しのべる動機は、今回の東北大震災に見られるような大々的報道に心を痛めて援助を開始されたのではなく、神さまだけがご存知の目立たない地味な仕方、人知れず、貧困にあえぐ小さき兄弟に継続的な援助を長年にわたって与えてくださっているからです。すでにお知らせしましたが、数年前より、DBK の皆さまのご支援のおかげで、毎月、カトリック系の養護施設に収容されている約五百名の園児に、二十俵のお米（一俵四十六キロ）を届け続けています。また、今年も、学校のない貧しい地域に校舎を建設中です。これも DBK の皆さまのおかげです。

ボリビアは南米最貧国と言われ

ています。最近の新聞によると、ボリビアでは貧困が原因で出産時に千人中八人の女性が死亡しています。また、実に多くのボリビア人が麻薬とかかわった生活をしていきます。「今年だけで、セトンのコカインが麻薬捜査官に押収された」と報じられ、連日のようにボリビア人男女が、外国の空港で麻薬密輸容疑で逮捕されています。また街には、右を見ても左を見ても、子ども、大人、老人の物乞いしている姿が見受けられます。生活保護法など、ボリビアでは夢のまた夢です。けれど、キリストに従う神父、シスターたちは喜びのうちに宣教師牧に励んでいます。



ボリビア宣教師
倉橋輝信神父

DBK だより 第 7 号

2011 年 7 月 6 日

発行人:チプリアニ・アルド
発行所:サレジオ管区本部
〒160-0011 東京都新宿区若葉1-22-12
Tel:03-3353-8355 Fax:03-3353-7190
dbk-gia@donboscojp.org

ご寄付くださる方は以下にお振り込みください。

郵便振替 口座番号

00100-4-560725

加入者名

発展途上国援助・ドンボスコ基金

